



Vol. 159

2023年7月18日発行
(令和5年)

議会だより しらたか

6月定例会
山形県白鷹町議会



伝統 未来への継承 荒砥地区子獅子育成保存会

乳用牛に緊急支援 定例会概要	③ p
ここが聞きたい 本会議一般質問で町政を問う	⑤ p
黒滝橋の架け替えを要望 重要事業要望	⑭ p
追跡レポート「Jクレジット制度の活用は」	⑮ p
輝く地域のカ 白鷹の未来を彩る「梅津 悠さん」	⑯ p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

この広報は、議員の自主編集で発行しています。

みなさまの声をまちづくりに提言します



議会の新体制が決まる

議長

菅原 隆男

副議長

関 千鶴子

議会選出監査委員

今野 正明

総務厚生常任委員会

◎ 笹原 俊一

○ 竹田 雅彦

今野 正明

菅原 隆男

山田 仁

横山 和浩

産業建設常任委員会

◎ 金田 悟

○ 佐々木誠司

遠藤 幸一

関 千鶴子

丸川 雅春

衣袋 正人

議会運営委員会

◎ 遠藤 幸一

○ 笹原 俊一

今野 正明

山田 仁

金田 悟

丸川 雅春

議会広報特別委員会

◎ 丸川 雅春

○ 佐々木誠司

金田 悟

竹田 雅彦

衣袋 正人

予算特別委員会

◎ 山田 仁

○ 笹原 俊一

ほか議長を除く全議員

議会活性化特別委員会

◎ 関 千鶴子

○ 丸川 雅春

ほか議長を除く全議員

ふるさと森林公園 再整備特別委員会

◎ 竹田 雅彦

○ 横山 和浩

ほか議長を除く全議員

置賜広域行政事務組合 議会議員

菅原 隆男

関 千鶴子

山田 仁

西置賜行政組合 議会議員

笹原 俊一

丸川 雅春

竹田 雅彦

◎ 委員長

○ 副委員長

定例会の概要

期 間 6月8日から15日（8日間）
審 議 補正予算2件 人事案件12件 条例改正1件
財産取得1件 指定管理1件
※原案のとおり可決

請願審査 「食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願」 ※採択
一般質問 竹田 雅彦 議員「持続可能なまちづくりのための
人口減少対策の充実について」

6月
定例会

補正
予算

乳用牛に緊急支援

飼料・電気など価格高騰

酪農生産費高騰緊急支援事業

新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢などに伴う
生産費の高騰で、厳しい経営状況にある酪農家に対して、
国、県と連携して支援を行う。

4ページに関連記事



補助金額

乳用牛1頭あたり7500円

- 予算額 1100万円（町内の飼育頭数1461頭）
- 財 源 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用

補正予算の 主な質疑

デジタル推進事業に 702万円

一般会計補正予算の主な内容

デジタル推進事業	702万円
行政情報配信システムの構築経費の追加	
まちづくり推進事業	143万円
移住施策実施に向けた体制強化への対応	
地区コミュニティセンター費	347万円
分館を整備するための補助の追加	
町道維持補修費	1300万円
路面補修などの維持補修工事の追加	
住民税非課税世帯電力・ガス・食料品等 価格高騰重点支援事業	4388万円
対象世帯への給付金の支給	
企業立地促進事業	6000万円
企業の立地を進めるための補助金の追加	
子育て世帯生活支援特別給付金事業	591万円
低所得の子育て世帯への給付金の支給	
魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業	133万円
経営体の育成を図るため機械導入などへの支援	
6次産業化推進拠点施設整備事業	1189万円
6次産業化推進施設の実施設計	
酪農生産費高騰緊急支援事業	1100万円
国県と連携して酪農家へ支援 など2億890万円を補正し、 一般会計予算総額は89億4620万円となった。	
◎財源は、国・県支出金、繰越金などで対応 します。	

※万円未満は端数調整

電子申請の推進

〔横山委員〕行政情報配信システム構築経費を追加するが、その内容、目的、効果は何か。

〔企画政策課長〕電子申請システムを構築するため追加するもの。サービス内容は検討中だが、マイナンバーによる本人確認を行うことで、証明書などの電子申請が可能になる。

移住促進施策の推進

〔丸川委員〕移住施策のため会計年度任用職員を配置するが、主な理由は何か。

〔企画政策課長〕ポストコロナにあたり、これまで制限してきた移住促進広報活動や移住体験事業などを今年度は活発に行っていくためである。

分館施設整備事業への対応

〔佐々木委員〕1千万円を超える予算額になってきた。今後老朽化が進み申請が増えた場合、予算対応していくのか。

〔町長〕分館の維持は利用者に対応することが基本となっている。しかしコミュニティを考えた場合、相談をさせていたが、相談をさせて



屋根を改修した荒砥新町分館

る限りの応援はしていきたい。

町道維持補修費

〔佐々木委員〕各地区から要望も多く出ていると思うが、さらに追加対応という考えはあるか。

〔町長〕有利な制度、財源を使いながら幅広く対応していきたい。箇所など具体的に話をいただければありがたい。

持続可能なまちづくりの方策は

町長 企業の環境整備や外国人材確保支援に取り組む



録画を配信

少子化と人口減少

町は2040年には1万5000人程度の人口維持を目標にしているが、出生数は令和3年度36人、4年度40人となっている。

人口減少対策は

問 持続可能なまちづくりのため、具体的な人口減少対策をどう考えているか。

町長 持続可能な人口を維持するため、受け皿となる企業の環境整備や、外国人材の確保に向けた支援など積極的に取り組んでいく。

外国人の受け入れ

問 外国人の方々の受け入れ状況と課題はどうか。

町長 持続可能な人口を維持するため、受け皿となる企業の環境整備や、外国人材の確保に向けた支援など積極的に取り組んでいく。

商工観光課長 町内企業の需要などを把握し、

商工観光課長 令和4年現在の町内在留外国人は1336人となっております。受け入れ企業は、把握する限りでは6社ある。課題は、受け入れ企業に義務付けられている住む場所の確保や言葉の壁、生活環境や習慣の違いなどがあると認識している。

介護人材として

問 外国人材6名が介護職に就くこと。課題はどうか。

健康福祉課長 介護技能評価試験、日本語能力試験、介護の日本語評価試験に合格した方々であり、基礎的なところは一定程度期待している。受け入れ後は現場で支援体制を取ると伺っている。

問 資格を取得するための支援制度などの考えはあるか。

町長 福祉施設と協議しながら、応援していきたいものがあればしていきたい。トータル的に判断をしていきたい。

ソフト小村の活用

問 現在6棟あるが2棟は利用されていない。利用促進のため利用要件を緩和してはどうか。町内の雇用にも結び付くのではないか。

町長 有効活用するために何でも良いということではないと思う。当時大きな目標があった。丁寧な説明をしていかなければ変えることはできないだろう。ただ、今後検討させていきたい。

女性・若者の視点

問 女性が地元や地域に残れるような環境づくりが重要である。

女性や若者がまちづくりを継続して語れる場や、町に具体的に提案していく機会も必要と思うが、所見はどうか。
町長 いろいろご意見を頂き、行政の一つの流れを作っていくかどうか、非常に大変なことではあるが、内部で検討させていただきたい。

私もひとこと

今後も、人口減少対策は最優先で取り組んでほしい。

(町内50代)



一般質問とは、議員が町政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、政策の提言や質問をすることをいいます。

条例

5月臨時会

●白鷹町町税条例の一部を改正する条例の専決処分を承認

地方税法の一部改正等に伴い、軽自動車税種別割のグリーン化特例を延長するなど、所要の整備を行うもの。

●白鷹町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分を承認

地方税法施行令の一部改正に伴い、課税限度額を引き上げるとともに、5割軽減措置及び2割軽減措置の拡充を行うため、所要の整備を行うもの。

6月定例会

●白鷹町町税条例の一部を改正する条例の制定を承認

地方税法の一部改正等に伴い、森林環境税の賦課および徴収について定めるとともに、軽自動車税(種別割)原動機自転車に係る区分などを改正するもの。

契約

5月臨時会

●白鷹町スクールバス取得契約の締結を承認

スクールバス3台を取得

契約金額 4950万円
 契約相手 有限会社
 小嶋自動車整備工場

6月定例会

●小形除雪車取得契約の締結を承認

小形除雪車1台を取得

契約金額 1383万8千円
 契約相手 寒河江重車輛株式会社

人事

5月臨時会

●白鷹町固定資産評価員の選任に同意

高橋 浩之 氏 (浅立)

6月定例会

●白鷹町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

村上 茂一 氏 (高岡)

●白鷹町農業委員会委員の任命に同意

(任期 令和5年7月20日より
 令和7年7月19日まで)

児玉 匡樹 氏	小林喜久雄 氏
小松 晴治 氏	小口 修 氏
樋口金一郎 氏	高橋 清吉 氏
衣袋 則子 氏	小林 孝次 氏
村上 浩康 氏	新野 清 氏
菅原 政敏 氏	以上11名

指定管理

6月定例会

●いきいき深山郷のどか村の指定管理者を承認

指定管理者 深山区
 指定期間 令和5年7月1日から
 令和8年3月31日まで

[10ページに関連記事](#)

請願

6月定例会

●食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願を採択し、意見書を提出

請願者 山形おきたま農業協同組合
 代表理事組合長 若林 英毅
 山形おきたま農協農政対策本部
 本部長 若林 英毅

[7ページに関連記事](#)

食料・農業・農村基本法の見直しに関する意見書

(前文略)

将来にわたり国民へ安定的に食糧を供給していくため、多岐にわたる基本法の見直しに際し、特に下記の事項について、生産現場の声として強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

1. 認定農業者等の担い手はもとより、中小・家族経営などの「多様な担い手」が果たす役割は極めて大きいため、農村振興のみならず、農業振興の観点からも「多様な担い手」を基本法にしっかりと位置付けること。
2. 水田活用の直接支払交付金の見直しに止まらず、[※]ゲタ対策等の経営所得安定対策や、個々の農家に対する新たな直接支払制度の導入を含めた施策全般にわたる見直しを行うこと。

白鷹町議会議長

提出先 衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

※ゲタ対策：畑作物の直接支払交付金

令和5年第3回白鷹町議会臨時会(5/1)概要

改選後初の議会が開催され、以下の議事を承認可決しました。

- 議長・副議長の選出(選挙)
- 議席の指定
- 議会議員の構成決定(常任委員会・特別委員会 ほか)
- 置賜広域行政事務組合議会議員の選出(3名)
- 西置賜行政組合議会議員の選出(3名)
- 白鷹町監査委員の選任(議会選出1名)
- 白鷹町固定資産評価員の選任(承認)
- 専決処分(承認)
 - ・白鷹町町税条例の一部改正
 - ・白鷹町国民健康保険税条例の一部改正
 - ・令和4年度白鷹町一般会計補正予算(第11号)
 - ・令和4年度白鷹町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
 - ・令和5年度白鷹町一般会計補正予算(第1号)
- 契約(承認)
 - ・白鷹町スクールバス取得



伝統
未来への継承
荒砥地区
子獅子育成保存会

平成2年に文部省支援事業「青少年ふるさと学習」において、小学5、6年生を対象に発足し、33年の歴史を刻みます。近年コロナ禍で活動もままならない中、小学1年生から中学3年生までの15人が、日々懸命に練習に励んでいます。

発足初期の子どもたちも今では親や指導者となり、伝統ある獅子舞とふるさとを大切に思う心を、次世代へ連綿と紡いでいきます。

表紙

産業建設常任委員会 6月12日

下水道料金の検討 慎重な対応を

下水道事業の経営状況について説明を受けた。

下水道事業の経営状況

【4年度決算見込み】

- 使用料収入
前年度比約3%減少
- 維持管理費
前年度比約6%増加

【今後の対応】

- 効率的な執行
安定的・持続的なサービス提供に向け、経営戦略に基づく効果的な事業執行に努める。

【主な要因】

- 使用料収入
コロナ感染症対応の緩和により社会活動が回復、自宅での水道使用量が減り、約500万円の減少。
- 建設改良費
約3千万円の増加。
- 維持管理費
電気料の急高騰や労務単価の上昇により、約1100万円の増加。
- 使用料の検討
予測できない急激な変化に対応するため、5年度中に経営シミュレーションを実施し、戦略の一部見直しを含めた適正な使用料の検討を行う。

質疑

滞納状況は

【委員】令和4年度の使用料の滞納状況はどうなっているか。

【当局】前年度より若干増えている。徴収率を

上げることも料金適正化には重要であり、給水停止も適切に執行していくとともに、当事者との話し合いを進めながら、滞納解消に努めていきたい。



下水道インフラの要、浄化管理センター

除雪車の管理、万全に

完成した除雪機械格納庫について説明を受け、現地を視察した。

除雪機械格納庫の概要

【保管するもの】

- 除雪ドーザ 3台
- 除雪ロータリ 2台
- 小形ロータリ 2台
- 歩道除雪機 25台
- タイヤチェーンなど
- 鉄骨平屋建て
- 床面積
- 格納庫 400㎡
- 管理室 16・45㎡
- 総事業費
- 1億545万
- 4800円

【施設の規模】



その他の説明

○下水道事業の地方公営企業法適用の取り組み状況

地域の担い手確保に向けて

地域人材ベースキャンプの現状と今後について説明を受けた。

【地域人材ベース キャンプについて】

外部人材（マルチワーカー）の誘致、受け入れ、人材育成の役割を果たす地域人材のベースキャンプ組織を設立し、担い手を確保し、新たな視点やアイデアを活用した活性化、地域を先導していく人材育成を図る仕組みづくりや事業展開を目指す。

①町内事業者へのアンケート調査

- マルチワーカー導入に興味、関心のある事業者は28者
- 設立、運営に参画希望の事業者は19者

②農林業分野でマルチワーカー導入の意向が強く、モデルケースも農林業を主軸に検討。

③都市部(首都圏等)在住者向けニーズ調査に956件回答。

- 住居費を抑制、リモートワーク・副業、ゆとりのある田舎暮らしへの憧れ、スキルアップにニーズ有り。

●収入水準は、現在の80%以上を希望。

【今年度の取り組み】

- 組織を設立し、組合理事・事務局長選出。
- マルチワーカー募集ツアアの開催、採用に向けた取り組みの実施。

質疑

地域人材

【委員】地域人材とはどういうことを想定しているか。

【当局】さまざまな仕事を体験していただく。その後やってみたい仕事があれば、企業に就職し定着していただくような取り組みを想定している。

仕組みの検討

【委員】仕組みは、誰がどう検討し決めていくのか。

【当局】民間事業者と契約し、ベースキャンプ設立の支援をしていただいている。参画希望の19者を対象に打ち合わせ会を実施し、認識の醸成に努めている。

マルチワークとは

一年もしくは一週間や一日のなかで、複数の仕事を掛け持ちすること



参画希望の職種

【委員】19者の主な分野は何か。

【当局】主に農業分野、製造業者、福祉分野などから回答があった。

目標値

【委員】何人ぐらいという目標はあるか。

【当局】需要と供給のバランスであり、具体的にはないが、小国町では、最初3人、現在5〜6人である。

税負担の公平性が課題

都市計画税の今後の方向性について説明を受けた。

【状況の変化】

公共下水道事業は、荒砥、鮎貝地区供用開始で計画は概ね完了。その後全町下水道化が進み、課税地域の特殊性は薄れている。

【課題】

課税区域の土地区画整理事業は、平成3年度の鮎貝地区の整備で概ね完了し、以後起債の償還に充当。下水道計画区域は拡大し、公平性が課題。

【今後のあり方】

当初の目的は達成され、税負担の公平性を考慮し対応する。

質疑

償還はいつまで

【委員】都市計画税3700万円の充当先として償還金に充てている

が、償還はいつまでか。

【当局】都市計画事業と土地区画整理事業による起債は、令和9年度ですべて返済の見通しである。

公平な見直しを

【委員】全町下水道化には個別処理もあり、下水道料金とのバランスも勘案しながら、見直しを進めてほしい。

【当局】下水道処理の負担は、どの事業も公平な取り扱いをしているが、行政経営改善委員会の中でも公平性を確認しながら、都市計画税のあり方を検討していく。

その他の説明

○令和4年度有明株式会社
ケイエスしらかの
経営状況について
など

産業建設常任委員協議会 5月31日

産業振興の拠点となる施設に

6次産業化推進拠点施設整備事業について説明を受けた。

【進捗状況】

建設予定用地については、土里夢館駐車場北側の農地で進め、地権者との交渉を終えて売買契約の締結に至った。令和7年度の使用開始に向けて、今年度は実施設計及び敷地造成工事を進めていく。

【施設の概要】

町の農産物を活用した食品加工や交流人口の拡大と稼げる産業を指し、食と農を起点とした6次産業化の拠点となる施設とする。

【予算概要】

実施設計（敷地造成設計、地盤調査含む）
1189万1千円



【導入機器】

X線異物検査装置、金属探知機、急速冷凍機、ラベルプリンター、シーラー、冷凍庫、冷蔵庫など

【施設管理】

指定管理制度により施設の運営・管理を实施していく想定をしており、令和7年度の使用開始に支障がないよう準備を進めていく。

質疑

稼げる産業と販路

委員 計画には稼げる産業を目指しとあるが、具体的な考えはあるか。

当局 これまで廃棄していた部分も活用し、所得につなげていきたい。

委員 販路はどうしていくか。

当局 直売所などから徐々に広げていきたい。小さなところからのチャレンジも含めて進めていきたい。

【経過】

のどか村の管理について、令和2年度までは深山区を指定管理者として指定し業務委託を行ってきたが、従業員の高齢化などの理由により継続は困難であるという報告を受けた。このため、令和3年度に（一財）白鷹町アルカディア財団へ指定管理者を変更し運営してきた。令和4年度以降は、コロナ禍により町の直接管理に変更し現在まで休業としていた。

のどか村の早期開業に向け検討してきたが、今般、深山区より運営に係る人材の確保ができたことから、指定管理者として管理運営を行っていききたいという申し出があった。



【指定管理について】

今後の運営の持続可能性などについて、深山区と協議を行った結果、指定管理者の指定について提案する。

● 指定管理者
深山区

● 指定管理期間
3年間（令和5年度から令和7年度まで）

● 指定管理料
令和5年度指定管理料 367万円
・ 債務負担行為（限度額）880万円

質疑

運営の内容は

委員 運営の中心となる方は、地域おこし協力隊の方がか。

当局 茨城県大子町で地域おこし協力隊をなさっていた方である。

委員 指定管理料の内容は何か。

当局 管理運営してくださる方1人分の人件費、施設管理に関わる管理費である。

その他の説明
○ 農業委員会委員の選任について
○ 酪農生産費高騰に伴う緊急支援事業について

価格高騰への支援

令和5年度住民税非課税世帯電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金について説明を受けた。

【目的】

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい世帯に対して、給付金を支給することにより、適切な配慮を行うことを目的とする。

【支給対象者】

令和5年度分の町民税均等割が非課税の世帯。

※対象世帯見込数

1350世帯

【給付金額】

1世帯あたり3万円

【事業費】

4387万5千円

【スケジュール】

- 7月上旬 対象世帯へ通知
- 7月18日 町報掲載
- 8月上旬 支給

質疑

申請期間

委員 申請期間はあるのか

当局 令和5年12月をめどに申請期限としたい。

周知方法

委員 新たに対象となる方へのお知らせは、町報で1回なのか。

当局 これまでの給付金の例だと、案内と勸奨の案内をしている。今回も同様に2回ほど考えている。申請が難しい方には個別のフォローも考えている。



低所得の子育て世帯へ生活支援

子育て世帯生活支援特別給付金について説明を受けた。

【目的等】

食料等の価格高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給することにより、その実情を踏まえた生活の支援を行うもの。

【支給対象者】

- 令和4年度子育て世帯生活支援特別給付金受給者
- 18歳未満の児童を養育する父母等であって、令和5年度分の町民税均等割が非課税の方及び家計急変者

【給付金額】

児童一人あたり5万円

【事業費】

590万6千円

【スケジュール】

- 7月上旬 対象者へ通知
- 7月18日 町報掲載
- 7月下旬 支給

質疑

申請期間

委員 重点支援給付金同様、申請期間はあるのか。

当局 年内をめどに申請期限を設け、その後勸奨も考えており、漏れのないよう対応していきたい。

新受給者の確認

委員 新たな受給者は、自分が対象となるか、どう確認できるのか。

当局 児童手当を受給

している方に案内し、ご確認いただき、対象になる場合は申請していただきたい。

要配慮者への支援

委員 重点支援給付金と併せて、配慮が必要なご家族への支援はどうか。

当局 子育て給付金は県から支給となる場合もあり、二重給付がないよう確認もあるが、しっかりと支援させていただきたい。

その他の説明

○白鷹町町税条例の一部改正に係る森林環境税・森林環境贈与税の概要について

ふるさと森林公園再整備特別委員会 6月15日

基本構想・基本設計の策定へ向けて

白鷹町ふるさと森林公園再整備等に係る取り組み状況などについて説明を受けた。

【指定管理者の事業者名変更】

【変更前】
株式会社 大倉
【変更後】
株式会社 HESTIA
(以下へスタ)大倉

【施設整備のポイント】

- 次を踏まえ基本構想、基本計画を策定する。
- ふるさと森林公園全体の新たな活用方法に資する整備
- デジタル技術の活用
- 再生可能エネルギーの導入
- 省エネ化、高効率化
- 老朽化対策

【令和6年度からの取り組みについて】

町・へスタ大倉・アルカディア財団の三者

で、随時協議し進めている状況。施設全体の休業はせず、温泉施設等の町民保養センター機能を維持したままの実施を原則とし進める。

質疑

職員の雇用

【委員】 現在勤めている職員の再雇用や地元からの雇用の方向性は。

【当局】 希望があれば、全て雇用していただきたいと話している。へスタ大倉もその方向性で考えている。

説明会

【委員】 町民一部の声とならないよう、町づくり座談会の場で説明していただくことはあるか。

全員協議会 6月15日

町民の安全を守るために

白鷹町地域防災計画修正案の概要について説明を受けた。

【趣旨】

白鷹町地域防災計画は、災害対策基本法に基づき、防災対策上とすべき総合的、基本的事項を定めており、政府及び山形県の見直しを踏まえ、必要に応じて修正することとしている。

【令和5年度の修正】

- ① 災害対策基本法の改正を踏まえた修正
- ② 近年発生した災害及び「山形県地域防災計画」の見直しを踏まえた修正
- ③ その他の防災に係る諸施策の充実
- ④ 文言及び数値の時点修正
- ⑤ 総則及び資料編の修正

質疑

避難指示までの流れは

【委員】 避難勧告がなくなり避難指示になる。町民への指示までの流れを伺う。

【町長】 発生した災害の状況を見ながら避難場所を確保して、指示できる方を配置し、避難手段を確保する。そして、避難指示の伝達手段を状況により判断し対応していく。

要支援者の避難

【委員】 地域防災計画による個別避難計画で要支援者の台帳が整備されている。計画や要領まで策定されているか。

【当局】 要支援者を対象とした個別避難計画も策定を始めた。実際に役立つ計画づくりをしていきたい。

その他の説明
○令和6年度重要事業
要望について



日頃から訓練

経営を圧迫する燃料費等の高騰



事業報告

一般財団法人 白鷹町アルカディア財団

理事長 田宮 修

◆概要 新型コロナウイルスワクチンの接種や治療薬の開発などが進み、一定程度の社会経済活動の回復は図られましたが、コロナ禍は一向に収束せず、感染症の拡大は当財団の経営環境にさらに暗い影を落としました。

このような中ではありますが、全国旅行支援等の県のキャンペーンや町のキャンペーンなどの支援制度により、誘客エリアの拡大やPR告知による効果で利用者数や営業収入の増加につながりました。一方で、燃料費や光熱水道費及びその他の諸経費の高騰が経営を圧迫している状況は依然続いています。

◆収益高 宿泊・飲食部門の売上増、宿泊・飲食業に対する各種支援策の活用、新型コロナウイルスワクチンの接種コールセンター業務の受託、白鷹町ふるさと森林公園管理特別対策事業費補助金及び原油価格等高騰対応支援給付金等により、経常収益合計は2億6088万円（前年比78.5%）、経常費用合計は2億7171万円（前年比102.7%）、当期損益は1090万円の赤字、繰越欠損金は6408万円となりました。

○主な事業の利用者数	()は前年比	
宿泊	5820人	(2054人増)
宴会	8289人	(3298人増)
レストラン	6581人	(585人増)
もりもりハウス	406人	(179人増)
スキーセンター	3425人	(401人増)
入湯	5万121人	(5051人増)
野外施設	3万7634人	(500人減)
○主な事業の売上金額	()は前年比	
宿泊	5175万円	(1970万円増)
飲食	4914万円	(1852万円増)
入湯	1123万円	(115万円増)
スポーツ施設	766万円	(23万円減)
※万円未満は端数調整		

町立病院の業務を受注 職員数は47人

有限会社ケイエスしらたか

代表取締役 藤島 丈

業務受注状況

◇白鷹町立病院

医療事務・事務宿日直・病院施設管理・
調理業務・電算保守等・事務補助・患者
介護業務

取締役・職員数（令和5年3月31日現在）

◇理事・・・2人（非常勤・無給）

◇職員・・・47人

病院医療事務員・・・16人

病院宿日直・・・2人（2人増）

病院施設管理・・・3人（2人減）

病院調理師

（管理栄養士兼務1人含む）

電算処理・・・2人

病院事務補助・・・4人

看護助手・・・11人（11人増）

※（ ）内は、1年前との比較

令和4年度決算

◇事業収益 1億6937万円

◇事業費用 1億6921万円

◇経常利益 16万円

※万円未満は端数調整

町民生活向上に 19項目の要望

6月23日、菅原議長は佐藤町長とともに山形県置賜総合支庁を訪れ、「令和5年度重要事業要望書」を総合支庁長に手渡しました。
2項目の新規事業を含む重要事業19項目について県の支援を要望しました。



		要望事項	現状・要望理由
新規	1	酪農業への支援 1. 酪農業の安定的な経営を可能とするセーフティネットの構築等、必要な支援を図ること 2. 自給飼料生産を推進するための環境整備を図ること。	①社会情勢の変化に伴う飼料や燃油、電気料金の高騰が続いており、農業経営を圧迫している。特に家族経営の小規模農家から廃業を余儀なくされる事例も発生している。 ②生産コストの増額に見合う新たな乳価設定の仕組みづくりに加え、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）のような、セーフティネット制度の構築が必要である。 ③長期的な経営基盤の確立に向けては自給飼料の確保が課題であるが、町内及び近隣には必要な機械や乾燥調製施設が十分に整っていないため、地域ごとに拠点施設等を設置していくことが必要である。
	2	一般県道深山下山線黒滝橋の架け替えについて 1. 大型車両等のスムーズな通行及び周辺住民の安全確保のため、黒滝橋の架け替えと一般県道深山下山線の改良に向けた調査に早期着手すること。	①国道287号と接続しており、日本海側の新潟県から太平洋側の宮城県へつながる道路網の一つとして、物流に欠かせない道路として利用されている。 ②幅員が狭いにも関わらず大型車の通行が多いことから、車両同士のすれ違いができず、国道287号の右折レーンや、県道側の橋の手前で停車して交互通行が日常的に行われている。 ③黒滝橋は白鷹大橋と並び、最上川を挟んで西側と東側の地域を結ぶ重要な役割を担っているが、周辺住民の往来にも支障をきたしているため、事故の発生も懸念される。
継続	3	白鷹高等専修学校への支援	12 木材の安定供給体制構築の支援強化
	4	デジタル化推進のための環境整備充実	13 森林境界明確化事業に対する支援
	5	人口減少対策に対する支援	14 有害鳥獣対策への支援
	6	地方交付税総額の確保充実	15 国道348号の高規格化による再整備
	7	地域公共交通に対する支援	16 主要地方道長井白鷹線道路改築事業の推進
	8	過疎対策事業債の必要額確保	17 国道287号道路改築事業の整備促進
	9	地域医療の確保	18 長井～白鷹間西廻り幹線道路整備の早期着工
	10	新型コロナウイルス感染症対策への継続支援	19 GIGAスクール構想による個別最適な学びの充実
	11	グリーン社会の実現に向けた施策の充実	

追跡 レポート

— あの質問のゆくえ — Jクレジット制度の活用は

国のJクレジット制度を活用した売却益を森林整備に活用すれば、木材の販売促進とCO₂の吸収量増につながると言うが考えは。

(令和3年6月議会)

答弁

自治体間や企業との新たな連携構築という波及効果も期待できるので、大変有効な制度と考えている。林政係を中心に考えてまいりたい。

どうなった

令和6年度の発行に向けて準備

Jクレジット制度は、経済産業省、環境省、農林水産省の関係省庁が横断した取り組みで、省エネ機器の導入や森林整備などによる、二酸化炭素の排出削減量や吸収量を販売や購入することができる制度です。

本町には多くの民有林があり、財産区などの大規模な森林所有者もおられることから、森林整備の促進によるクレジット発行に向け実施検討を行ってきました。

現在町内では、認可地縁団体鮎貝自彊会じきょうかいとおきたま林業株式会社が約1700ha

の森林整備に向け、協定を締結し、所有地の森林整備計画や森林資源量の調査など令和6年度のクレジット発行に向けて準備を進めています。

なお、当制度では木材伐採時に一時的に二酸化炭素を排出するという仕組みになっていますが、伐採後の再生林とセットで緑の循環システムを構築しながら林業の振興と環境保全の両立を目指してまいります。

【農林課】



計画通りにクレジット発行に向けて準備を進め、緑の循環システム構築につなげられたい。

田んぼがしたい子
集まれー！



梅津 ^{はるか}悠 さん (浅立)

輝く地域の力

白鷹の未来を彩る

ぴんくのヒヨコ

…田んぼを終わらせるのはもったいない…

大好きなピンクに身を包み、早朝から元気に稲作に励む、梅津悠さんにお話を伺いました。

就農のきっかけは

小さい頃から田んぼで遊んでいました。田植の時期、会社勤めの合間に田植え機に乗せてもらい、家族を手伝うようになりました。

ある年の田植えの前日、祖父が大ケガをしたのがきっかけで、祖父の代で田んぼを終わらせるのはもったいないと思い、後を継ぐことを決めました。

なぜピンクなの

もともとピンクが大好き。会社勤めの頃は髪を黒くしてくださいと言われていました。ピンクの髪、メイク、ピアスを自由にできるのは農業しかない！と気付いたのも、就農のきっかけです (笑)

子どもたちが いっぱい集まる

種子用のお米を三町五反、ほとんど一人で管理しています。

種まきのときは家族

一同、親戚のおばちゃん、おいつ子にめいっ子、近所の子どもたちまでいっぱい集まって手伝ってくれるので助かります。子どもの方が多くくらいですよ (笑)

若い人の就農につながればいいですね。

楽しく食品開発

食品の加工販売もやっています。夏場はトマトのキムチ、冬場はお菓子や漬物を自宅の加工場(ぴんくのヒヨコ)で作り、仲間と共に役場口ビーなどに出張販売もしています。

おみ漬けは、近所のおばちゃんから漬け方を聞きましました。予約でほとんど完売します。

お菓子作りはいつも思い付きで、作りたいものを作るって感じですよ。笹巻も、白じゃつまらないから、色を着けたらかわいいかなって。白は何色にでも染まりますから (軽トラも)。

仲間と

気の合った仲間5人で

「ゆかいなマーケット」と名をつけて、朝市などの売り場情報を見つけては、商品の売り込みや販売を一緒にやっています。定期的な出

張販売なども企画して、販路を広げられれば良いですね。

議会へひとこと

肥料や農薬、燃料に加え育苗の土までも、全てが値上がりし、農家は大変な思いをしています。早急な対策を、切実にお願いします。



取材を終えて

田舎の農業には似合

わないような柔軟なスタイルと発想。しっかりとした経営理念。これからの若い農業を、必ずや、けん引していけることと実感しました。(佐々木)

編集後記



新型コロナウイルス感染症の法的措置が5月に引き下げられ、更に社会活動が通常化に向かう中、白鷹町議会も新たな体制となりスタートしました。

広報委員一同、議会の動きをいかにわかりやすくお伝えできるかを最優先に考え、新たな内容も検討しながら、多くの町民の皆様にお読みいただけるよう、紙面づくりに努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、日本列島は10月ごろまでが出水期。情報を常に把握し、災害への備えは常に万全としていたいです。(丸川)

広報委員

- 委員長 丸川 雅 春
 - 副委員長・編集長 佐々木 誠 司
 - 委員 金 田 悟
 - 委員 竹 田 雅 彦
 - 委員 衣 袋 正 人
- 印刷 (有)梅津印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。